

報道機関各位

## 令和5年度被災建築物応急危険度判定模擬訓練の開催

県では、地震で被害を受けた建築物の危険度を判定する「被災建築物応急危険度判定士」養成のため、判定技術の習得を目的とした模擬訓練を毎年実施しています。

今年度の訓練は下記により実施いたします。

### 記

#### 1 実施日時

令和5年10月17日（火） 午後1時30分～4時30分

#### 2 実施場所

(1) 判定ガイダンス：最上総合支庁203会議室（2階）

午後1時30分～2時25分、3時40分～4時30分

(2) 判定模擬訓練：元新庄第17号職員公舎（新庄市堀端町9-11）

午後2時40分～3時25分

#### 3 内容

地震により被災したと想定する実際の建築物を使用して、2人一組となり応急危険度判定の模擬訓練を行う。

#### 4 参加者

県・市町村・民間の判定士 約15名

#### 5 その他

(1) 駐車場所は、模擬訓練会場の敷地内である新庄南高等学校同窓会館駐車場（3台程度）となります。

(2) カメラ撮影は、随時可能です。

(3) 参加者へのインタビューは、模擬訓練終了後に行ってください。

被災建築物応急危険度判定は、地震発生後の余震等による建築物の倒壊や部材の落下などによる二次災害を防止するために実施されています。

令和元年6月18日に発生した山形県沖を震源とした地震において、県内の判定士が判定活動を実施しました。

また、平成28年4月の熊本地震では、県内から10名の判定士を派遣し、判定業務を行いました。（別紙参照）

#### 【問合せ先】

山形県県土整備部建築住宅課

建築行政主幹 笹島康利

電話：023-630-2657

報道監 県土整備部次長 森谷健

## ■ 令和4年度山形県被災建築物応急危険度判定模擬訓練実施状況



判定活動の事前説明（判定ガイダンス）



外観の被害状況確認



講評

◆熊本地震での山形県からの被災建築物応急危険度判定士派遣状況◆

派遣先 熊本県熊本市、益城町  
派遣期間 平成28年4月25日（月）～4月29日（金）  
派遣人数 県、山形市、天童市、鶴岡市の職員 計10名

【被災建築物応急危険度判定状況写真】



木造建築物被害状況



下げ振りによる建物の傾きの確認状況



給湯設備被害状況



下げ振りによる建物の傾きの確認状況

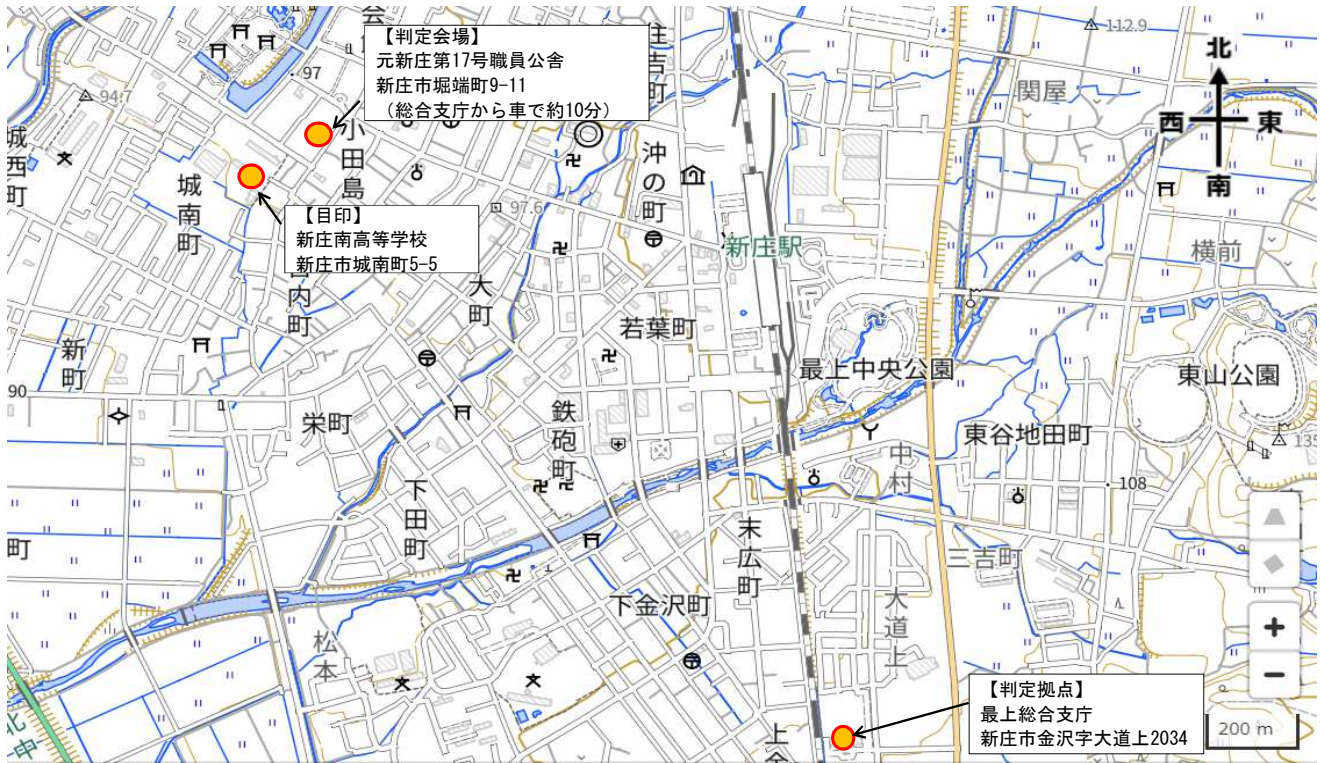


鉄筋コンクリート造建築物被害状況



判定結果をステッカーにより周知

【判定拠点、判定会場】



【判定会場周辺】

